



三浦 義光 議員

無会派

問 これからの公共施設のあり方は

答 予約システムを構築していく

○改めて、本市公共施設の現状と将来の見通しについて、以下を問う。

問 小中学校以外の、弥富市公共施設再配置計画の進捗は。

答 (財政課長) 令和4年度は、旧歴史民俗資料館解体工事、十四山公民館の講堂を除く機能を他施設へ複合化。

問 産業会館の解体時期は。

答 (総務部長) 決まり次第報告する。



▲産業会館

問 農村環境改善センター、農村多目的センターの今後は。

答 (建設部長) 令和12年頃に貸室機能は他の施設へ統合し、建物は解体する計画だが、その時期を早められないか事前相談を行っている。

問 公共施設の利用料適正化に関する方針の現状は。

答 (財政課長) 方針の見直しはしていない。

問 分かりづらい公共施設の担当所管は。

答 (総務部長) 武道場は生涯学習課。農業振興施設、産業会館は産業振興課。その他は、各施設が所管。

問 利用料の支払い方法に違いがあるが、現状は。

答 申請窓口で現金支払いできるように準備中。

問 市長総括を。

答 (市長) 今後は公共施設予約システムを構築し、現金の取り扱いをなくしていく。

問 弥富名古屋線の開通を見据えて

答 周辺の交通環境を整えていく

○弥富名古屋線の開通を見据え、周辺市道の整備に関して、以下を問う。

問 市道鎌倉308号線の歩道設置状況は。

答 (建設部長) 予備設計を済ませ、5年度に橋梁部分の詳細設計に向けた予算を計上。

問 海部土地改良区会館東側丁字路の安全性は。

答 県は減速を促す安全対策をすること。市道側にも何らかの対策を検討。

問 近鉄三百島踏切の改善は。

答 事業実施のめどが立っていない。

問 弥生通線が都市計画道路から外れた理由は。

答 愛知県都市計画道路見直し方針に基づき検証した結果、当該路線を廃止して

も円滑な交通処理が可能なため。

問 その後、弥生通線の調査結果は。

答 板柵土留めの設置、一部の用地測量及び買収の費用を、5年度予算案として計上。

問 市長総括を。

答 (市長) 弥富名古屋線とつながり、国道1号に抜ける場合など、大変便利になると考えている。



▲JR鎌倉踏切